

令和4年度ドリームプラン 活動報告書

東京家政大学 家政学部
造形表現学科 4年：S.E. I.A. K.A. K.N.
服飾美術学科 4年：K.A.

下記の通り活動を行いましたので、ご報告致します。

活動名	ファッション企画「服と人のつながり」
活動日時	2022年2月～2023年1月
活動内容	冊子制作、展覧会開催

1. 概要

■応募理由

表現の楽しさや服の社会問題を再認識し、人と服をテーマに多くの人を巻き込んだ冊子制作や展覧会の開催がしたいと考えました。造形表現学科・服飾美術学科との合同企画への挑戦として、企画に賛同したメンバーが集いドリームプラン奨学金への応募を決意しました。

■展覧会情報

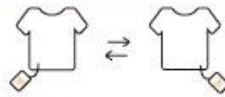


思い出のフクを交換しませんか？

思い出タグプロジェクト

交換のルール

所持品の数1点と展示衣裳の数1点を交換できます！
大切な衣類に贈る感想で、お洋服を拝見ください。
みなさまの気遣いをお待ちしております！



交換OK

交換NG

トップス、ボトムス
ワンピース、アウター

毛玉やシワ、よれ、色褪せのあるもの
ダメージがあるもの
靴、バッグ、アクセサリー、鞄類
高感度に触れる靴下、下着、水着
除却済アイテム以外のもの

あまりものにはフクがある。展

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前4丁目15-2
3階 表ト「日経美術館」千代田線「改札」駅徒歩7分
高参道ガーデン2F

MELOCO



ご連絡は Instagram まで！



展覧会名	あまりものにはフクがある。展
展示会場	裏参道ガーデン
開催日時	2022年12月2日(金)～5日(月)
展示内容	冊子『MELOCO vol.1』企画の展示、冊子の頒布、0円服の交換会、作家による作品展示

■冊子情報



印刷会社：株式会社グラフィック

印刷内容：表紙 両面カラー／コート 165 kg

本文 カラーA4 中綴じ冊子／28 p ・フルカラー／コート 110 kg／500 部

■企画紹介

・ドレスコード「固体・液体・気体」

気分や場面などに合わせて服を選ぶことの象徴として、水が気候によって状態変化する様子をテーマに設定。集まったメンバーそれぞれが、コンセプトを自由に解釈して服を選び、ロケ撮影を行いました。

・作品とファッション

普段から作品やファッションから好きなものが見てとれる、なんだか気になるあの人。個性豊かな造形学生 6 人にインタビューを行い、作品とファッションと自分、それぞれの中にある思いやそれらのつながりに迫りました。

- ・セレクトレポート

誰かに選んでもらった服を着てみて、自分の着回しや着方にどんな変化があるのか。選んでもらった日から生活の中でその服を着てみた感想や気付きなど、5人の参加者にレポートしてもらいました。

- ・思い出タグプロジェクト、0円服の交換会

着なくなった服に思い出のタグをつけて服を回収するプロジェクト。着なくなってしまった服に対して思い出という価値を付与することができる。回収された服は0円服の交換会にも使用される。思い出を価値にして服を交換することができる催しです。

- ・作家さんによる作品展示

SNS や声掛けにて作家を募集。テーマを自由に解釈してもらい、作品を作り上げてもらいました。

2. 活動報告

■スケジュール

2021年12月	メンバー結成
2022年3月	プレ企画「福袋企画」上野にて実施
4月	企画の立案
5月	ドリームプラン奨学金応募、展示会場の下見、企画書作り
6月	ドリームプラン奨学金プレゼン会準備 冊子企画の計画 「セレクトレポート」参加者の収集
7月	セレクトレポートプレ企画、セレクトレポート企画の実施
8月	「思い出タグプロジェクト」企画書作成、準備 「ドレスコード」参加者の収集、ロケ場所を城ヶ島に決定、ロケハン 「セレクトレポート」の撮影開始 表紙モデルを決定、展示会場の手配
9月	「ドレスコード」と表紙の撮影 学内での「思い出タグプロジェクト」実施
10月	冊子「MELOCOvol.1」の制作開始 「作品とファッション」「後日談」の撮影・インタビュー 「思い出タグプロジェクト」の服を回収 展示会に出展する作家の募集
11月	冊子「MELOCOvol.1」とDMの制作、入稿 展示準備（搬入時の運送会社手配、展示パネル・キャプション制作、導線の提案など）
12月2日～5日	「あまりものにはフクがある。」展の開催、展示会での冊子の頒布
1月	ドリームプラン報告会

■展示の様子



展示会では、学芸員の資格の授業での学びを踏まえ計画をしました。授業内では自分の考えた展示を実際に行うことはなかったので、「一つの展覧会」として形にする難しさを実感しました。また写真ひとつを展示するにあたって、プリントする素材、大きさで見えかたも大きく変わることに気がきました。この経験を次回に生かしていきたいです。来館者は、二十歳～が多かった印象です。私たちの知り合いの方はもちろんですが一階のカフェの利用者の方も多くいらっしゃいました。その中で同世代の私たちのプロジェクトに近い活動をしている方にも出会い刺激を受けました。

3. まとめ・感想

今回、ドリームプランを通して多くの方の協力のもとプロジェクトを完遂することができました。私たちは今まで作品を個人でつくることが多く、またそれを外部に発信する経験がありませんでした。「MELOCO」というグループを結成し集団で表現活動をするなかで、一つの意見から多くのアイデアが生まれ発展していく姿に刺激を受け互いを高め合うことができました。また、冊子を制作する上で、制作画面上に見えるものと、プリントされたもの差や、慣れない入稿作業に苦戦をしました。そんな中で完成した冊子を多くの方に手に取ってもらい実際にその反応を目の当たりにし、言葉にできない達成感をおぼえました。そして、冊子や展示作りのための企画も大変刺激的なものでしたが、何よりも完

成したものを通して皆さんとお話をしながら交流できた時間も大変素晴らしいものでした。交流の中で皆さんが様々な解釈で企画を見てくださったことを知りました。展示会の四日間で気づかされたことも多くあり、この交流の時間はとても貴重なものとなりました。

4. 今後の目標

今後の第一目標は MELOCO というグループを通じて、表現の活動を長く続けていきたいと考えています。今回のプロジェクトでは、服というツールを利用して制作・展示を行いました。住まいや食にも視点を移して大学の枠を飛び終えて様々な人と協働し、表現が身近に捉えられる環境を提供していきたいです。

ドリームプランを通して多くの方の協力のもとプロジェクトを完遂することができました。この企画で生まれた「縁・つながり」を大切にしながら活動の輪を広げ、今後も「MELOCO」として大きく成長していきたいと思えます。